

——CEATEC JAPAN 2018 特別シンポジウム——

電子情報通信学会ではCEATEC JAPAN 2018の開催に合わせて、今話題の5Gネットワークとビッグデータ等のデータサイエンスを用いた電気通信ネットワークの未来を語る特別シンポジウムを企画します。東京2020オリンピック・パラリンピックの頃までには、5Gネットワークが実用化されます。5Gネットワークは、携帯電話の高度化だけではなく、IoT（センサー等）、M2M（自動運転やロボット）への応用が急速に進むことが考えられます。一方、機械学習やAIといったデータサイエンスは、すでにわれわれの生活にインパクトを与え始めており、常時つながるセンサーやマシンは今までできなかったアプリケーションを作る可能性があります。今回、CEATECに来場される学会会員のみではなく、非会員にもオープンに、電子情報通信が作る未来のアプリケーション、5Gネットワークによる常時接続、超多重接続、超広帯域データ転送を使う技術を解説します。また、面白い最新応用分野、具体的には、今は、まったく兆候のない病気を確率的に予想するウェアラブルとデータサイエンスを用いた最新の予病医学、ほかの車の行動（走行状況）で自分の経路や通行帯を決める自動運転など、今後膨らむ近未来の世界への想いを参加者の皆さんと共有したいと思います。

日 時：2018年10月18日（木）10：00～13：00
場 所：幕張メッセ国際会議場2階コンベンションホールA
テーマ：データサイエンスと5Gネットワークが生む未来
主 催：一般社団法人 電子情報通信学会

スケジュール

司会 諏訪東京理科大学教授 布 房夫

10：00～10：30 開会挨拶及び「産業界と協働する電子情報通信学会の未来（仮）」
電子情報通信学会 会長 安藤 真（独立行政法人国立高等専門学校機構理事）

10：30～12：40 オムニバス講演

1. 『これが5Gネットワーク —技術とアプリケーション—（仮）』 NTTドコモ5G推進室長 中村武宏
2. 『ここまで来た癌の予想 —ウェアラブルとデータサイエンスによる予防医学の最前線—（仮）』
理化学研究所 健康生き活き羅針盤リサーチコンプレックス チームリーダー 水野 敬（Ph.D.）
3. 『コネクティッドカーが作る自己組織型自動運転技術』
慶應義塾大学理工学部教授、超成熟社会創造オープン研究センターセンター長 山中直明

12：40～13：00 学会のアクティビティと閉会挨拶 広島市立大学教授 三村和史